

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 30 号

第 30 週 (7月20日 ~ 7月26日)

発行年月日:平成21年(2009年) 7月30日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

**滋賀県内の新型インフルエンザ確定患者の発生は109例(7月23日現在)
腸管出血性大腸菌感染症の発生は今年になって5例目**

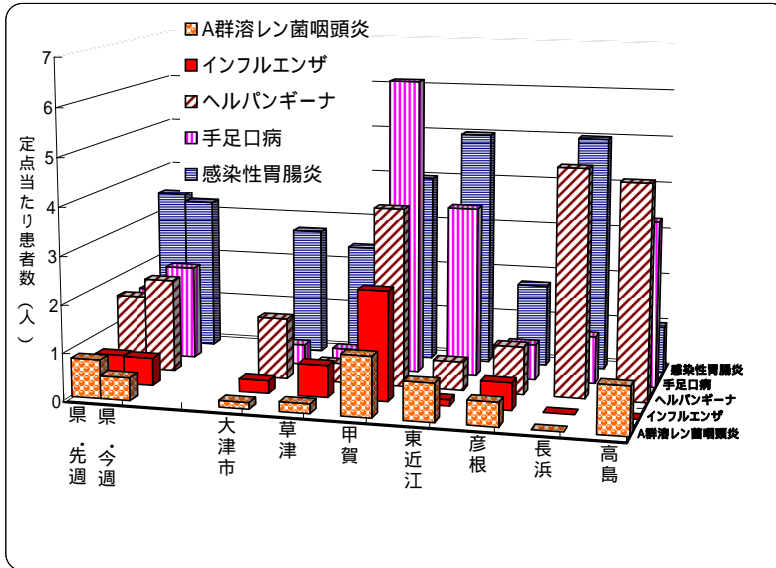
定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週よりやや少なくなっています。今週増加した疾患は手足口病、ヘルパンギーナ等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

新型インフルエンザの発生動向調査については、7月24日以降、確定患者の把握から集団発生の早期把握に切り替わりました(7月23日までの確定患者数の発生状況については下記グラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、先週に引き続き手足口病では甲賀で、ヘルパンギーナでは高島で警報発生基準値を超えています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で7名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で1名の届出がありました。

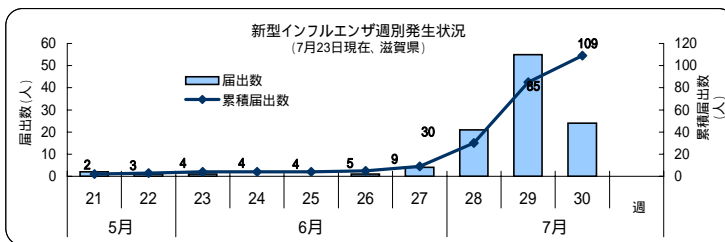
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第30週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。

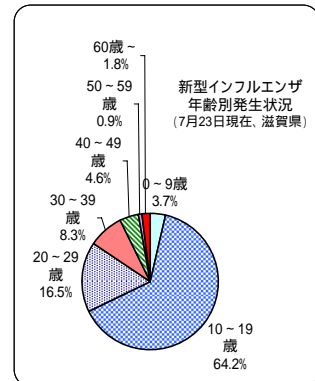
手足口病は甲賀で、ヘルパンギーナは高島で先週よりさらに増加しています。インフルエンザは甲賀で急増し、先週の倍増となっています。

新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1)発生状況



滋賀県における確定した患者の発生状況は、上記グラフのとおりです。性別では男性71人、女性38人です。また、年齢別では10~19歳で70人となり最も多くなっています。

- * 全国における患者報告数(厚生労働省)
- * 世界における患者報告数(WHO)



1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (30週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (30週)	全国 (30週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	7	156	14,804	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	96	^(*) 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	1	5	1,414	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	27	0	43
	A型肝炎	0	0	78	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	36	2	104
	マラリア	0	0	35	1	56
	レジオネラ症	0	4	373	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	461	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	122	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	69	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	75	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	4	845	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	47	1	76
	梅毒	0	0	417	5	839
	破傷風	0	2	59	5	123
	急性脳炎	0	1	125	1	190
	風しん	0	2	107	2	309
	麻しん	0	1	513	39	11,015

* 1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第30週(7/20～7/26) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 251例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 107例	細菌性赤痢 1例	パラチフス 1例	四類感染症: A型肝炎 1例	つつが虫病 1例	四類感染症: マラリア 6例	日本紅斑熱 1例	レジオネラ症 11例	レプトスピラ症 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 5例	ジアルジア症 2例	梅毒 6例	急性脳炎 6例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 12例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例	ウイルス性肝炎 2例	風しん 2例	麻しん 10例
-------------	----------------	-------------------------	----------	----------	----------------	----------	----------------	----------	------------	------------	------------------	-----------	-------	---------	-----------------------	------------------	--------------------	------------	--------	---------

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第25～30週, 6/15～7/26)

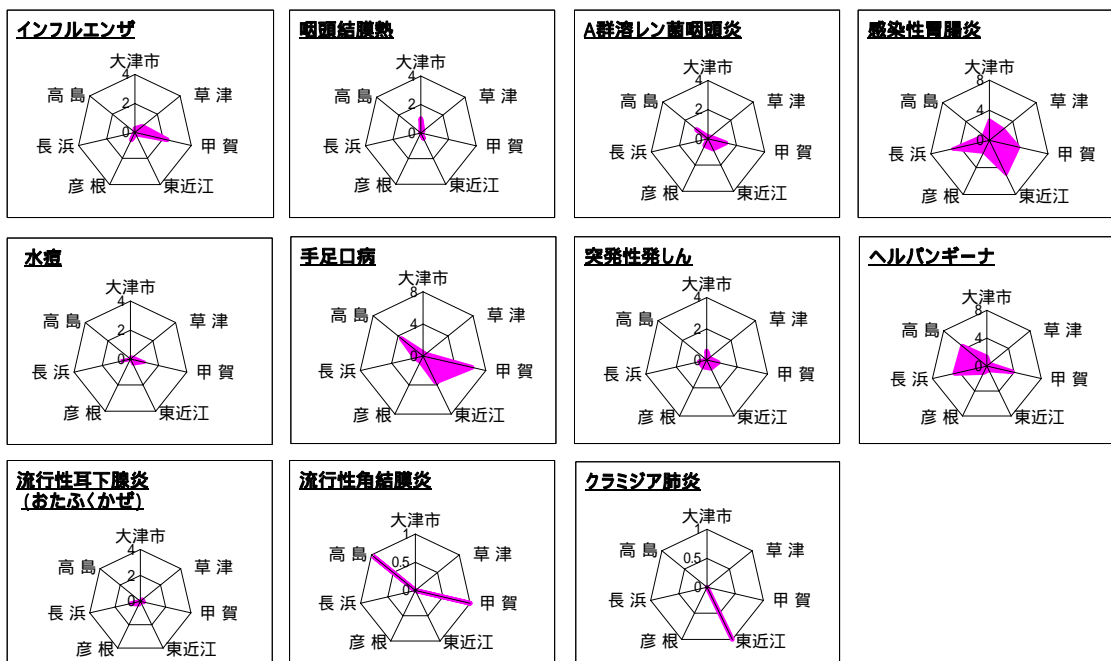
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	25週		26週		27週		28週		29週		30週	
	(6/15～)	(6/22～)	(6/29～)	(7/6～)	(7/13～)	(7/20～)	26	27	28	29	30	
インフルエンザ	0.15	0.08	0.08	0.31	0.60	0.58						
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.35	0.32	0.42	0.58	0.39	0.32						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.58	2.03	1.35	1.00	0.81	0.48						
感染性胃腸炎	4.71	3.94	3.48	3.06	3.42	3.26						
水痘	1.35	0.71	1.19	0.77	0.81	0.35						
手足口病	0.61	0.39	0.71	0.84	1.48	2.00						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.13	0.10	0.16	0.13	0.19	0						
突発性発しん	0.48	0.35	0.58	0.55	0.68	0.48						
百日咳	0.03	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.32	0.71	0.84	0.97	1.58	1.97						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.55	0.55	0.45	0.42	0.23	0.19						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.13	0	0.13	0.25	0	0.25						
細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14	0						
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.14	0.29	0.29	0.29	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0.14						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第30週、7/20～7/26)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)									疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	高島	
インフルエンザ	0.58	0.27	0.67	2.29	0.13	0.57	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.32	1.00	0.20	0	0.40	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	0.14	0.20	1.25	0.80	0.50	0	1.00	0	
感染性胃腸炎	3.26	2.71	2.40	4.00	5.00	1.75	5.00	1.00	0	
水痘	0.35	0.14	0.20	1.00	0.40	0	0.75	0	0	
手足口病	2.00	0.43	0.40	6.25	3.60	0.75	1.00	3.50	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.48	0.57	0.20	0.75	0.60	0.50	0.50	0	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	1.97	1.29	0.40	3.75	0.60	1.00	4.75	4.50	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.19	0	0.20	0.25	0	0.25	0.75	0	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0	0	1.00	0	0	0	1.00	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

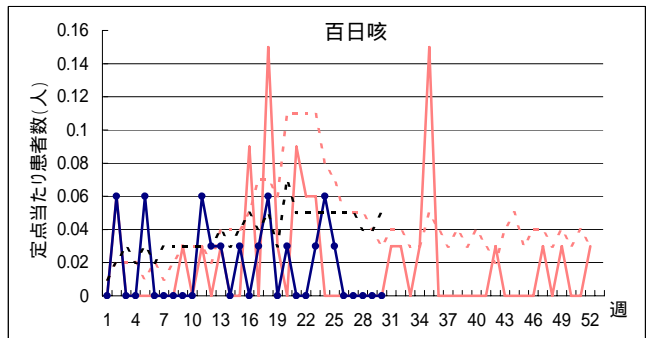
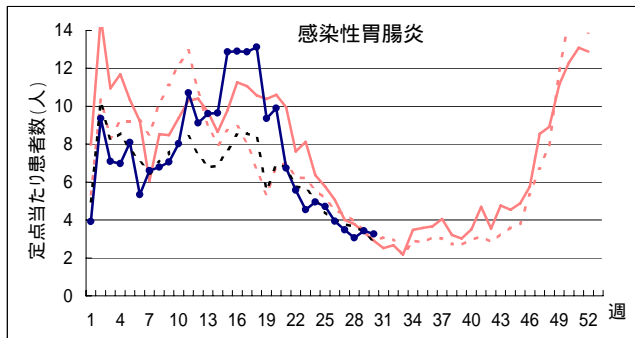
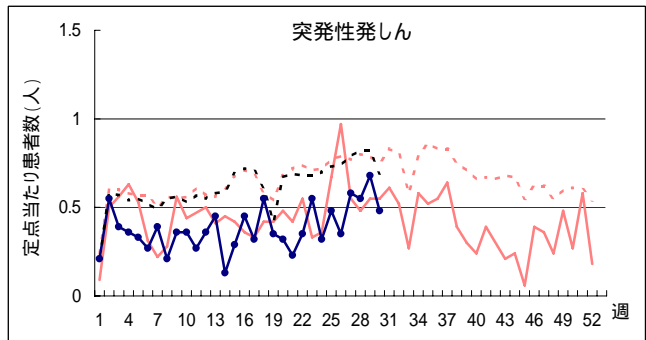
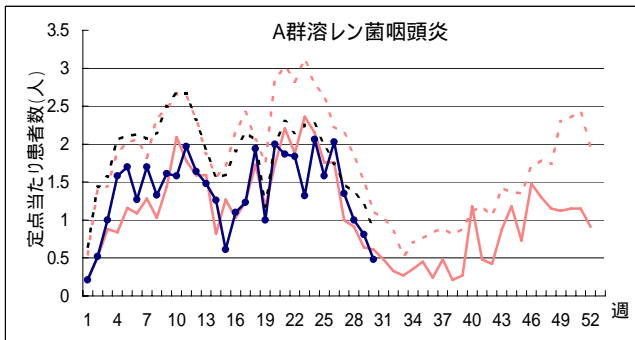
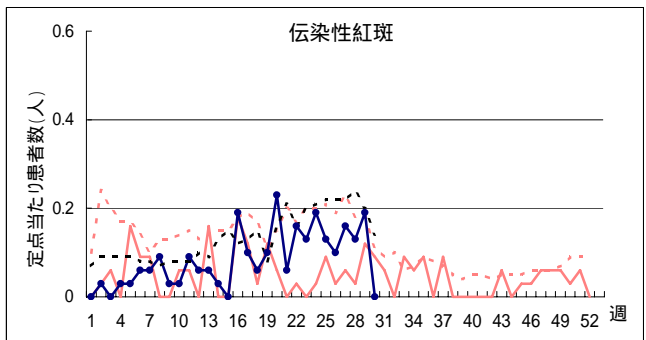
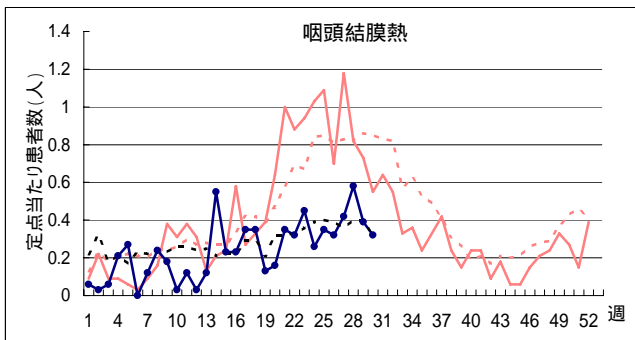
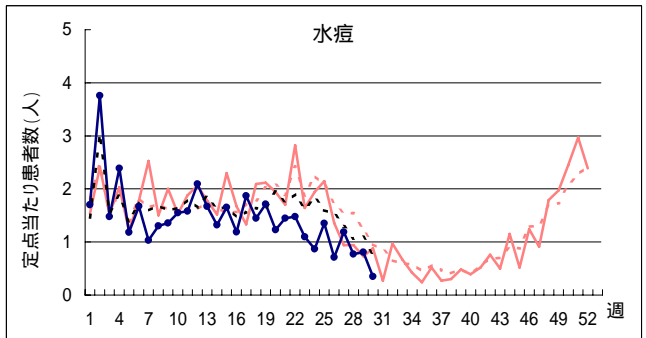
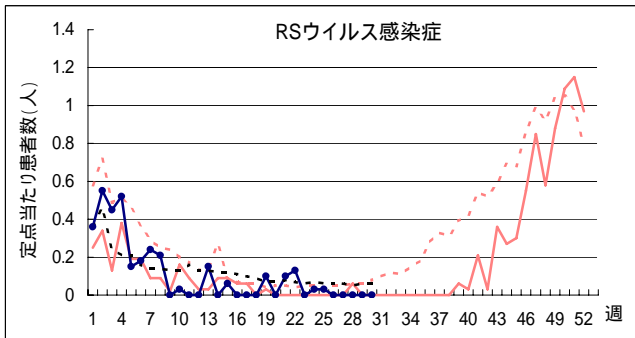
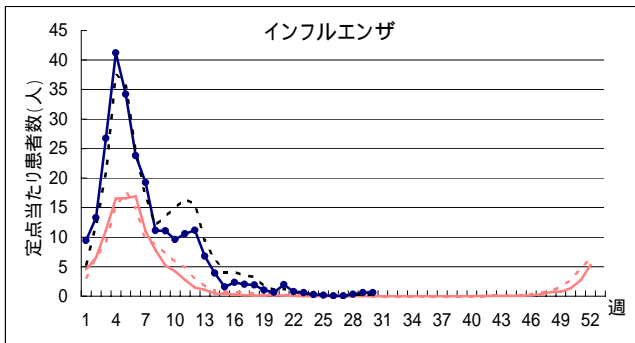
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



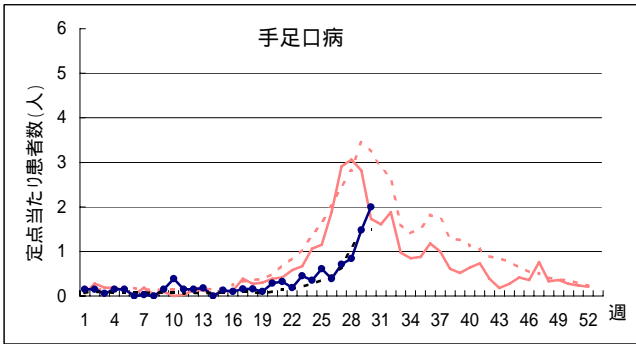
(3)今週の発生状況

- インフルエンザ-----県全体の定点当たり患者数は先週とほぼ同様で0.58となっていますが、甲賀で先週の倍増となり定点当たり患者数は2.29となっています。また、全国においても先週より増加しています。甲賀における年齢別発生割合は15～19歳で約44%を占めています。
- A群溶レン菌咽頭炎----甲賀および東近江では先週に引き続きかなり減少しています。
- 手足口病-----県全体では増加傾向となっています。甲賀、東近江、高島で多くっており、特に甲賀では先週に引き続き警報終息基準値(2.00)を超えています。
- ヘルパンギーナ-----県全体では増加傾向を示し、甲賀、長浜、高島で多くなっています。特に高島では先週に引き続き警報終息基準値(2.00)を超えています。

疾病別定点当たり患者数(平成21年第30週、H19.12.29~H21.7.26)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第30週、H19.12.29~H21.7.26)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H21
 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -

